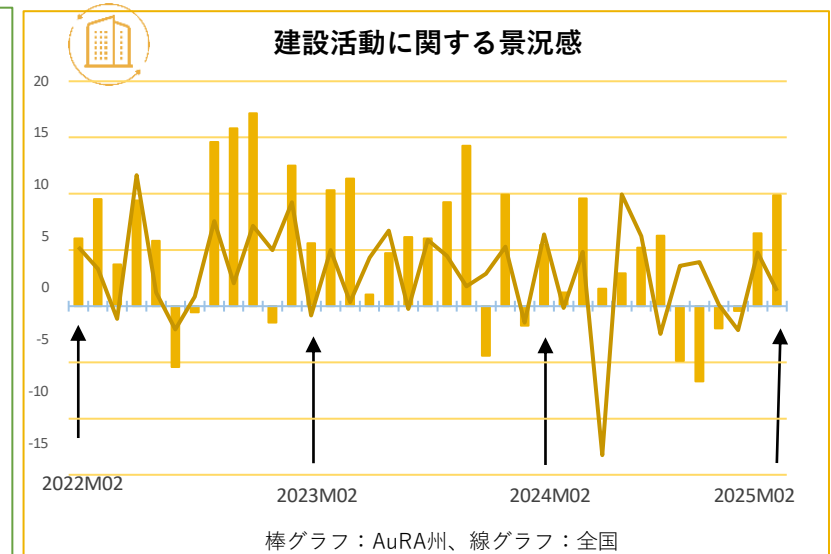
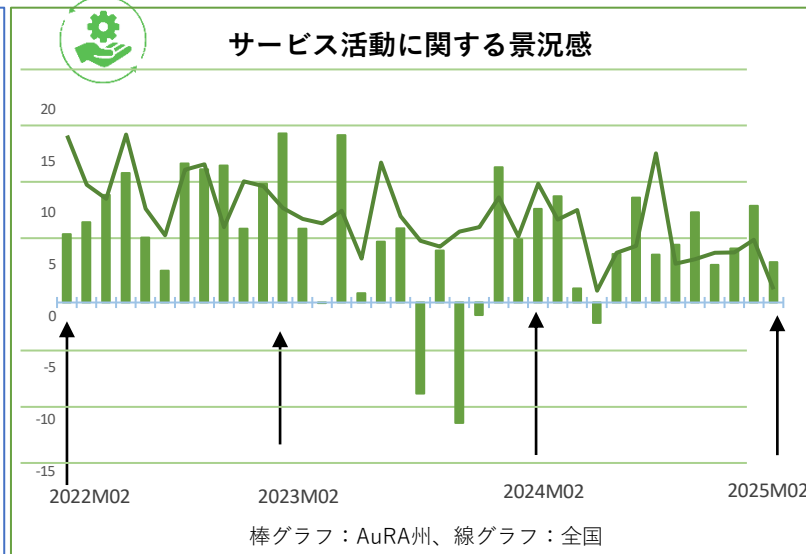
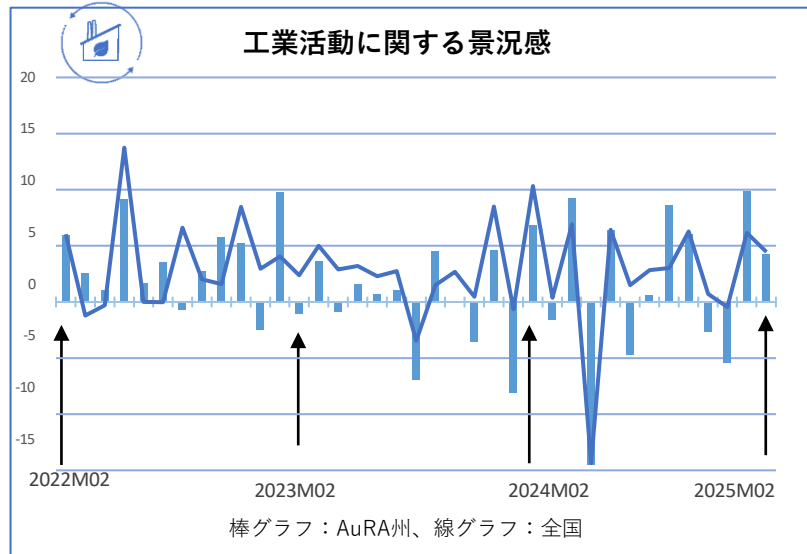


# オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年2月）

2025年3月 在リヨン領事事務所



## ポイント

- 年末休業明けに活況を呈した1月に続き、2月のAuRA州の工業活動の景況感(le solde d'opinion)は全国レベルと同様に上昇した。しかし、セクターごとに状況は異なる。全般的に雇用は減少したが、一部のセクターでは部分的に維持された。原材料価格はわずかに上昇したものの、販売価格は安定していた。
- サービス活動の景況感はAuRA州及び全国ともに、前月に比べて大幅に減退した。特に、ITサービスとエンジニアリングで顕著であった。雇用は安定しており、サービス価格は適度に上昇した。
- 建設部門の景況感は、AuRA州では上昇したものの全国レベルでは減退しており、構造工事及び仕上げ工事の両方でその傾向がみられる。新規ビジネスの受注には様子見の姿勢が続いており、より厳しい競争環境の中で見積価格が下落している点に留意しなければならない。
- 企業経営者による3月の景況感予測は、より慎重なものとなっている。工業部門及び建設部門では活動がやや減退し、サービス部門では緩やかに増加すると見込まれている。様々なセクターで支払期間の延長が指摘されている。実際、繊維・衣料・皮革、冶金、道路輸送セクターで、キャッシュフローが特に悪化しているとみられる。

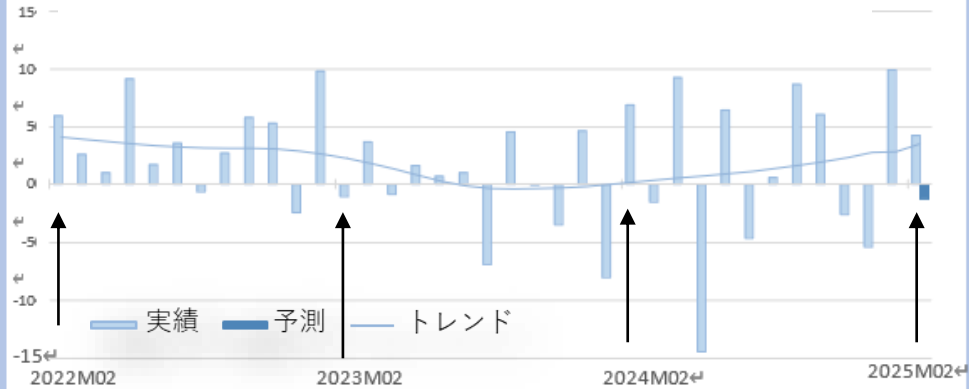
\* 各部門におけるセクター毎の調査結果は下記の出所（仏語）をご覧ください。

- ・ フランス銀行が、AuRA州の工業、サービス業、建設・公共事業の各セクター1,150の企業と事業所を対象に、景況感について調査を実施（2025年2月26日～3月5日）。
- ・ 景況感 (le solde d'opinion) とは、企業経営者による肯定的意見と否定的意見の合計を、企業の従業員数で加重平均し、各部門の付加価値で調整したもので、企業経営者による7段階評価の回答を集計した指数であり、その値は-200から+200の範囲となる。季節調整済み及び稼働日調整済みデータを使用。

（出所：Banque de France, [Tendances régionales : Auvergne-Rhône-Alpes](#)）

# オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ州における景況感調査（2025年2月） ：実績、翌月の予測、トレンド

工業活動に関する景況感

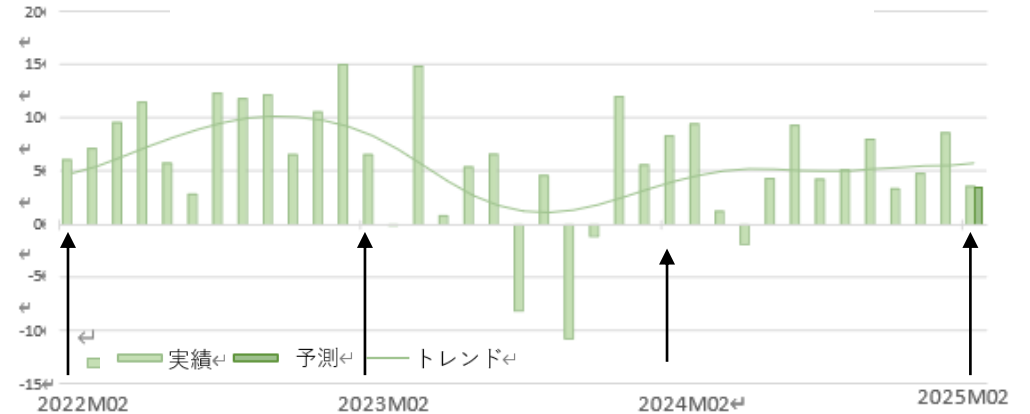


工業部門の景況感は年末の休業明けの上昇に続き、全体として今月も上昇した。しかし、化学セクターは大幅な減退となり、自動車及び電気機器製造、機械・設備製造セクターは、活動水準をなんとか維持している。不確実性が高い状況下で、雇用は減少した。今月の完成品の価格は安定していた。受注残は十分ではなく、今後数週間内に工業活動は若干減退するとみられる。



前月の予想どおり2月のサービス部門の景況感は鈍化した。宿泊、短期雇用、道路輸送、法律及び会計セクターは引き続き活況であるものの、飲食サービス、IT関連、エンジニアリング及び技術研究セクターでは活動が減退した。雇用は安定化し、物価は再調整された。企業経営者は、短期的に需要は増加するとみており、ビジネスの緩やかな成長を示唆している。

サービス活動に関する景況感



建設部門では金利低下が続くなか、2月の景況感は構造物工事及び仕上げ工事共に上昇した。しかし、不透明な環境下で新規ビジネスの獲得は困難であることから、競争が激化している。このため入札価格は引き続き下落した。受注残は引き続き減少しており、予測とほぼ一致している。経営者は3月の建設事業は若干減少するとみている。

建設活動に関する景況感

